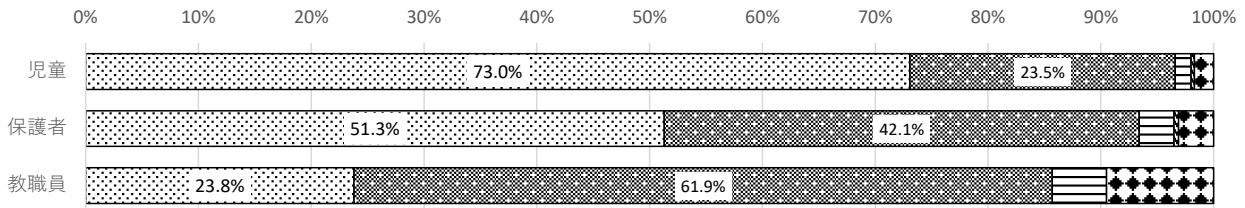


令和7年度 学校評価アンケート集計結

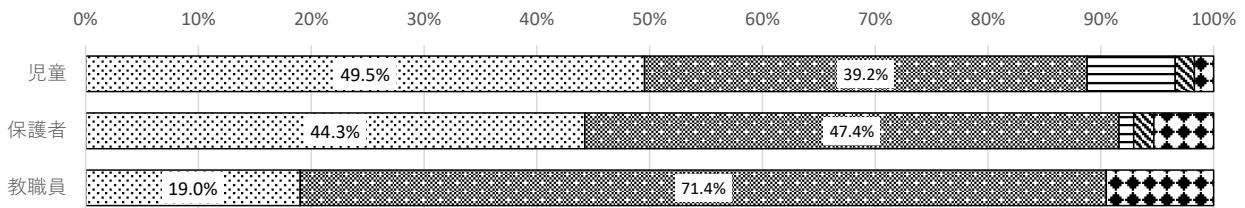
できている
 だいたいできている
 あまりできていない
 できていない
 わからない

※レイアウト上の都合上、肯定的な意見のみ%を表示

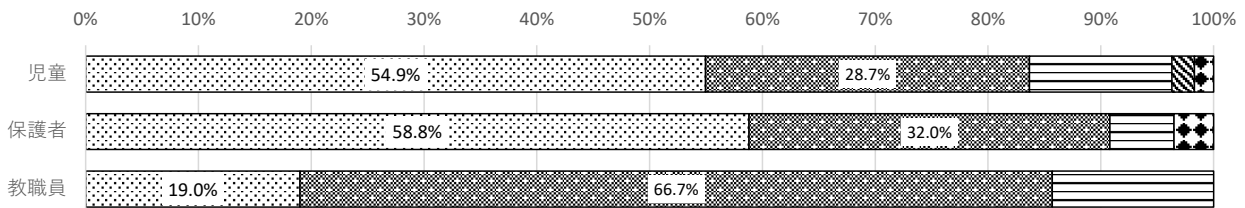
問1 学校で、友達と仲良く生活していますか。



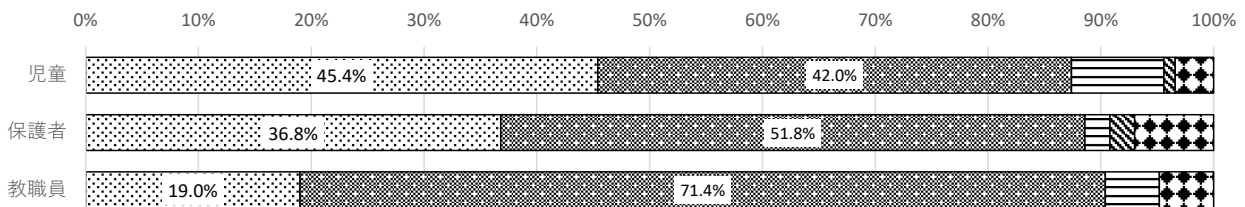
問2 学校で、楽しく勉強していますか。



問3 学校で、元気に運動していますか。



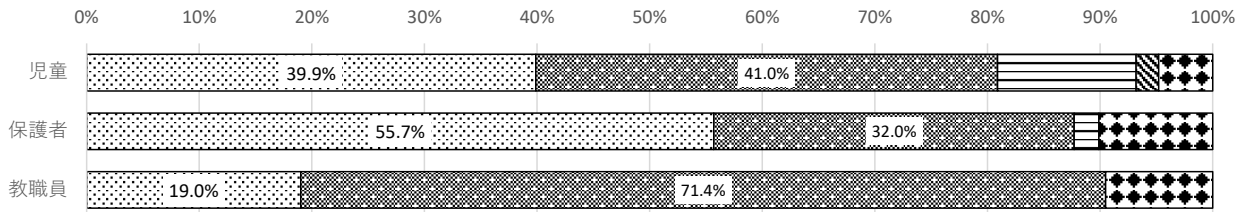
問4 勉強や学校生活の中で、物事を最後までやり通すことができますか。



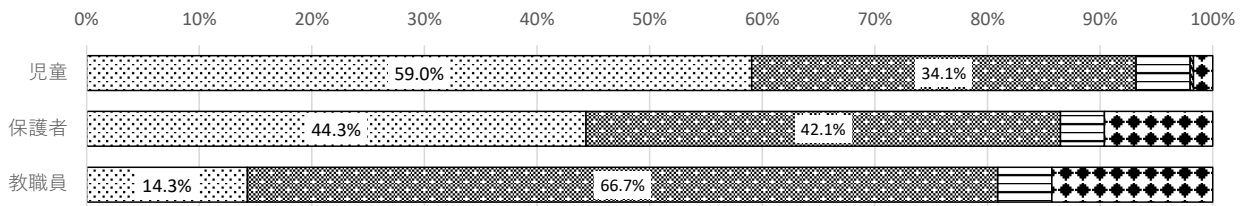
☑ できている ☑ だいたいできている ☐ あまりできていない ☑ できていない ☑ わからない

※レイアウト上の都合上、肯定的な意見のみ%を表示

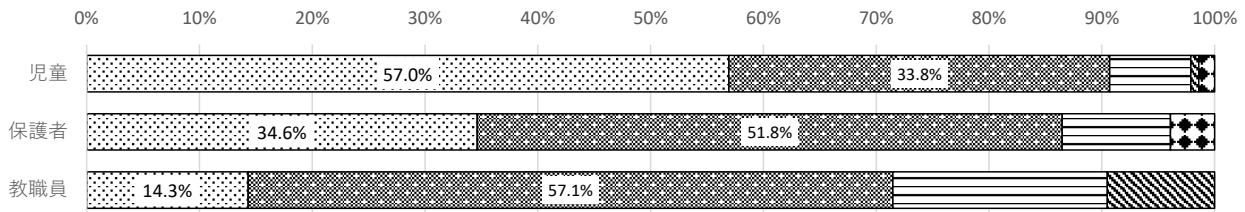
問5 勉強や学校生活の中で、先生に声をかけてもらったり、はげましたりしてもらっていますか。



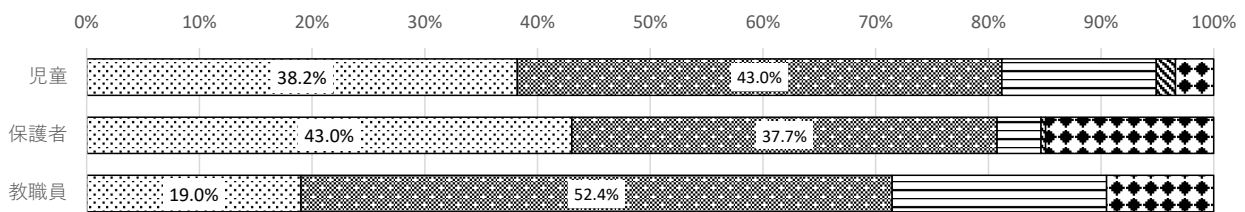
問6 授業は理解できていますか。



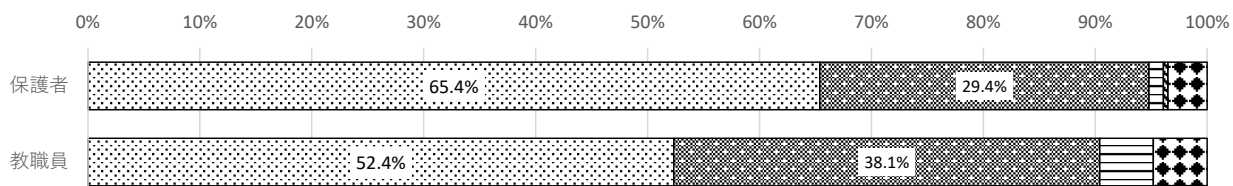
問7 「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」「ごめんなさい」などの言葉を自分から進んで言っていますか。



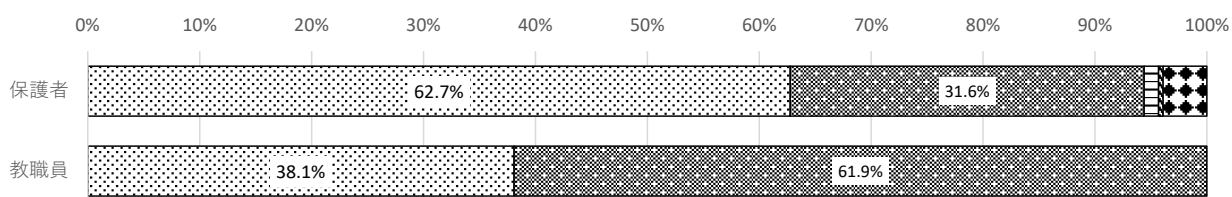
問8 「大丈夫！大丈夫？」「自分を信じて」「また明日」「ちょっとずついいよ」などの言葉を自分から進んで言っていますか。



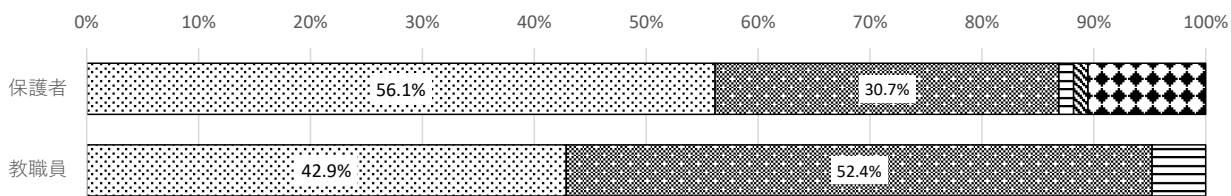
問13 学校は、校内音楽会やゲストティーチャーの活用等により、豊かな心・確かな学力の育成に取り組んでいる。



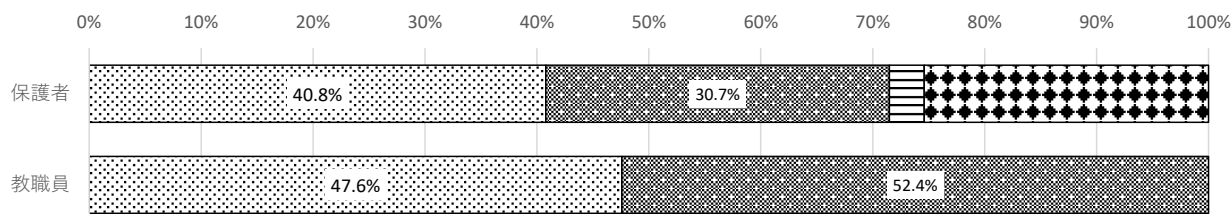
問14 学校は、安全点検の実施や防犯ボランティアとの連携等、子どもたちの安全を守っている。



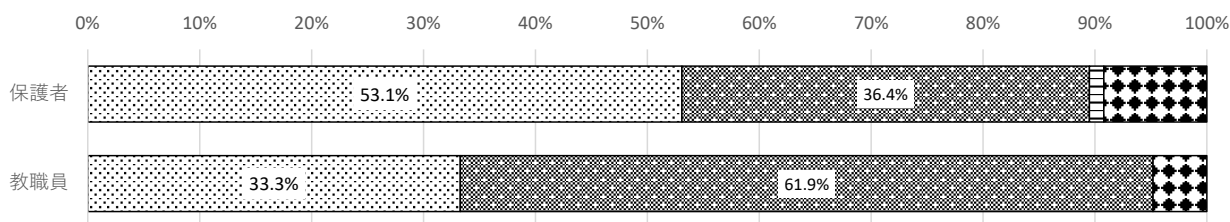
問15 学校は、避難訓練、不審者対応訓練など、危機管理に対して適切に対応している。



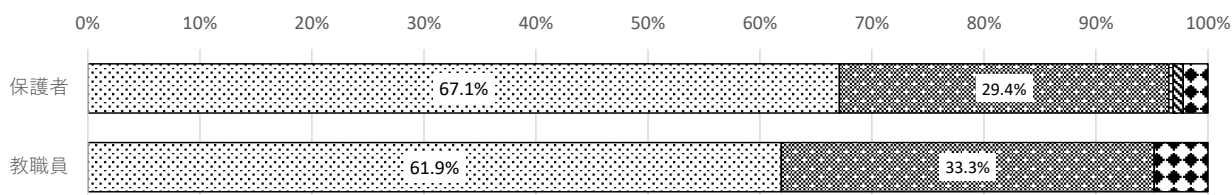
問16 学校は、いじめなど子どものトラブルに対して適切に対応している。



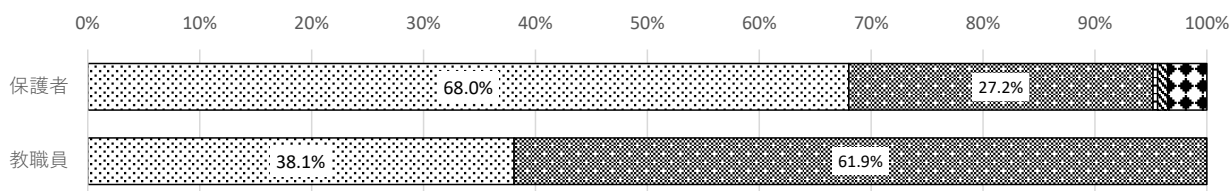
問17 学校は、保護者からの相談や要望に対して適切に対応している。



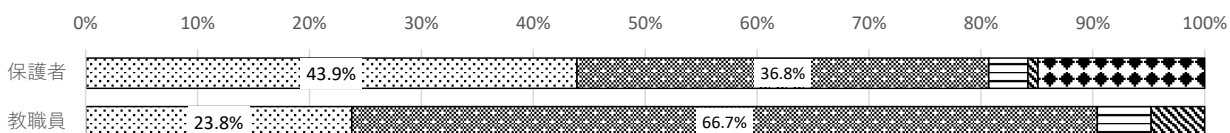
問18 学校は、「よい歯の学校」の伝統を継承する活動を推進するなど、健康づくりに取り組んでいる。



問19 学校は、おたよりやホームページ、学校安心メール等で保護者や地域に対して積極的に情報を公開している。



問20 学校運営協議会（コミュニティスクール）として学校、地域、家庭が一体となりコミュニケーション力の育成として「あいさつができる子」に取り組んでいる。



令和7年度学校運営等についての学校評価アンケートふり返り

1. よい評価をいただいた点

● 子どもたちの学校生活の充実

「友達と仲良く生活できている」「行事が楽しい」といった項目で、児童・保護者ともに高い評価がありました。特に行事に関しては、児童が96%、教職員が100%と、子どもたちが行事を楽しみ、自信を深めている姿がよく表れた結果ではないかと考えます。

● 学校をきれいに使う態度

「学校をきれいに使っている」「掃除を頑張っている」などの項目でも、児童・保護者・教職員すべてが9割前後の肯定的な回答でした。毎日の丁寧な掃除や整った環境づくりの積み重ねが、学校全体の良い雰囲気につながったのではないかと考えます。

● 情報発信の取り組み

保護者の方からは、「おたよりやホームページ、安心メールなどで、きちんと情報を届けてくれている」という項目で9割以上の評価をいただきました。学校として大切にしている“見える情報発信”が、家庭の安心につながっていると感じました。

2. 改善が必要な点(今後の課題)

● いじめやトラブル対応についての“伝わり方”

「いじめなどのトラブルに適切に対応できているか」という項目では、保護者の肯定的評価が71%台と、他の項目よりやや低めでした。これは、学校側が対応していても、その内容や流れが十分に保護者に伝わっていない可能性があります。

→ 対応の流れ(連絡・確認・見守り・再発防止)を分かりやすく知らせることが大切だと考えました。

● 危機管理(避難訓練・不審者対応など)の安心感

「危機管理の取り組み」についても、保護者の肯定的評価は8割半ばでした。訓練をしていることは伝わっていても、「どんな訓練をしたのか」「どんな改善をしたのか」など、具体的な情報をもう少し丁寧に届けることで、より安心していただけると感じました。また、R8年度につきましては、引き渡し訓練を実際を想定した形にするなど、より現実に即した訓練を行っていく予定です。

● あいさつ運動のさらなる広がり

コミュニティスクールとして取り組んでいる「あいさつができる子」の育成についても、保護者・教職員ともに8~9割の肯定でしたが、より浸透させていく必要があります。

家庭・地域との連携が重要なテーマであると考え、次年度につなげていく必要があると考えます。

3. 次年度に向けて大切にしたいこと

○トラブル対応の“見える化”と丁寧な説明

「いじめなどのトラブルに適切に対応できているか」という項目では、R6年度に比べて、24%肯定的な評価が下がりました。しかしながら、内訳をみると「わからない」の割合が20%を占めていました。質問項目にある「トラブル」という言葉が子ども達の人間関係に関わることに特化しているような聞き方になってしまい、トラブルが起きていない子ども達の保護者の方が答えられないということになってしまいました。トラブルには、怪我や病気などの対応も含まれます。そのことも伝わるようR8年度は質問項目を工夫・改善していきます。また、学校が大切にしている「初期対応→事実確認→見守り→再発防止」の流れ、誰がいつどのような対応をしているのか、保護者の皆さまに分かりやすくHP等を活用して知らせていきます。

○危機管理の取り組みを、家庭とも共有

避難訓練や不審者対応などの結果や改善点を学校だより等で発信し、学校と家庭が連携して子どもを守れるようにします。

○あいさつを広げる「場面づくり」

登下校や地域行事など、子どもたちがあいさつの成功体験を積める場を増やし、「自分から気持ちよくあいさつできる子」を育てていきます。また、身近な大人が手本を見せることがとても大切だと考えますので、挨拶のできる教職員集団となるよう意識付けを行います。

4. まとめ

今回のアンケートでは、子どもたちが **楽しく、安心して学校生活を送っている**ことが、数字にもはっきりと表れました。保護者や地域の皆さまのご理解とご協力のおかげです。

一方で、“伝わり方”に課題が残る項目もあり、学校としては、これまで以上に **分かりやすく・ていねいに・継続的に** 情報発信を行う必要があると感じています。

今後も、学校・家庭・地域が力を合わせて、子どもたちの育ちを支えていけるよう取り組んでまいります。